

認知運動療法ベーシックコース（東京）プログラム

第1日 2013年9月14日（土）

11:30-12:00	1日目受付	
12:00-12:50	講義1 なぜ「道具」を使うのか？運動学習はなぜ生じるか？	鶴埜
13:00-13:45	実技1	
13:45-14:30	実技2	
14:45-15:30	実技3	
15:30-16:15	実技4	
16:30-17:15	実技5	
17:15-18:00	実技6	
18:10-18:30	まとめ	

第2日 2013年9月15日（日）

08:30-09:00	2日目受付	
09:00-09:45	講義2 認知運動療法の基礎の要点	宮本
09:45-10:30	講義3 認知運動療法と脳科学の要点	信迫
10:40-11:25	講義4 認知運動療法と神経現象学や教育学などの要点	大越
11:25-12:10	講義5 そして、認知運動療法の臨床	宮田
12:10-13:10	昼休憩	
13:10-13:55	講義6 どのように動くか 行為システムの観察	宮本
13:55-14:40	講義7 自発的な運動 規定された行為の観察	三上
14:50-15:35	講義8 特異的な運動の異常要素 行為の拙劣さの観察	安田
15:35-16:20	講義9 プロフィール 行為のプロファイリング	信迫
16:30-17:15	講義10 改善の予測要素 プロファイリングと教育方針の関係	大越
17:15-18:00	講義11 改善予測と訓練の組織化 行為システムの運動学習へ	鶴埜
18:00-18:15	まとめ	

第3日 2013年9月16日（祝・月）

08:30-09:00	3日目受付	
09:00-09:45	実技7	
09:45-10:30	実技8	
10:45-11:30	実技9	
11:30-12:15	実技10	
12:15-13:15	昼休憩	
13:15-14:10	講義12 失行症を呈する者への認知運動療法	大越
14:15-15:10	講義13 半側空間無視を呈する者への認知運動療法	信迫
15:20-15:45	講義14 行為の運動学習は本当に可能なのか	鶴埜
15:45-16:00	質疑応答	

実技（10グループ以上に分かれ、以下順不同で基礎的な10の道具の特性と訓練の組織化の要点の理解と経験）

- 上肢：リーチ動作の行為
 - 到達のコンポーネント1：タブレットのマス位置
 - 到達のコンポーネント2：タブレットの図形
 - アプローチのコンポーネント：ポンテとラルケット
 - 把持、操作のコンポーネント：表面素材
- 下肢：歩行の行為
 - 支持、到達のコンポーネント1：臥位で行われる訓練
 - 支持、到達のコンポーネント2：坐位での前後方向の傾斜板
 - 支持、到達のコンポーネント3：坐位での足底下の不安定板
 - 推進、緩衝のコンポーネント：立位での踵下のスポンジ
- 体幹：上下肢の行為の基礎として
 - 垂直性のコンポーネント：坐位での側方からのスポンジ
 - 支持性のコンポーネント：坐位での殿部下の不安定板